

平成30年8月開催 福部地域振興会議議事概要

日 時 平成30年8月28日（火） 13：30～14：45
会 場 福部町総合支所2階大会議室
出席委員 南部敏、上山弘子、坪内悟、岸本正枝、西尾祥幸、北村重政、平田正雄、若狭さつき
（順不同敬称略）
出席者 鳥取社会福祉協議会課長補佐、同主事他
事務局 支所長、副支所長兼地域振興課長、産業建設課長、市民福祉課長、地域振興課課長補佐

○ 意見交換

鳥取市社会福祉協議会の取り組みについて

出席者：市社協では、助けあいのまちづくりを考えるため、「支えあい会議」の立ち上げの準備を進めているが、去る7月26日に説明会を開催したところ、地区社協会長、地区民児協会長、地区公民館長等25名に参加していただいた。参加者からは、「集いの場をつくりたい」、「移動手段の改善（生活支援）」といった意見が出された。

福部地域振興会議も、昨年度に福部のまちづくり構想を策定され、今年度は基本計画の策定に取り組まれていると聞く。「にぎわいのあるまちづくり」、「誰もがすみよいまちづくり」といった取り組みは、支えあい会議の考え方と共通する部分が多いので、今後、連携して進めさせていただきたい。

委員A：この取り組みは福部地域だけの取り組みか。

出席者：市社協では、地域包括ケアの一環で、市内41地区でこの取り組みを進めている。

会 長：支えあい会議は、市が進めるコンパクトシティの考え方に似ていると感じた。今後、市政との競合をどう住み分けるか。

出席者：この取り組みは、新たな組織を立ち上げるのではなく、既存の組織と協力しながら、活動を広げていきたいと考えている。まずは、この取り組みに対する賛同者を集めたい。

会 長：福部地域としても、今後、市社協と協力しながら取り組みを進めていきたい。

出席者：支えあい会議は、次回、10月末ごろの開催を予定している。福部町にお住まいの方なら誰でも参加可能なので、多くの人に周知し、参加していただきたい。

○ 議 題

(1) 福部町のまちづくりワークショップの進め方について

事務局：昨年度に策定した福部町のまちづくり構想を実現するため、今年度に基本計画と実施計画を策定することが第2回会議で決定しましたが、そのためのワークショップを第5回会議で開催させていただきたいと考えます。

委員B：ワークショップを開催する意図は。

事務局：会議形式で行われる議論ではなく、カフェテーブルで生き生きとした意見交換が行われることで、住民や地域に縁のある団体等の方から新たな発想の提案が期待できるからです。

会 長：10月中旬に第5回会議でワークショップを開催する。

(2) 共通議題① 地域組織のあり方検討の進め方について

事務局：本市では、平成20年度以降、市内61地区にまちづくり協議会が設立され、各地区で特色あるまちづくりが進められています。

一方で、少子高齢化等の進行により、地区を取り巻く環境は厳しさを増しており、まちづくり協議会、地区自治会、地区公民館などの地域組織で、より地域の実情に即した組織のあり方が検討されています。

本日は、協働推進課より共通議題として、現在の検討状況について情報提供がありましたので報告させていただきます。

会 長：この件は自治連でも話題となった。福部地域では、地域組織がそれぞれの目的で活動しており、問題は生じていない。まちづくり協議会については、設立後10年が経過し、やっとな脂がのってきた感がある。

委員C：現状では、市がどのような地域組織を目指そうとしているのか理解できない。

事務局：地域組織が地域の課題や特性に応じ、活動資金の確保や拠点施設の運営に一定の裁量を持ち、主体的な取り組みが展開できるように検討が進められています。これまでの検討経過を踏まえ、来年度にモデル的な取り組みが実施される予定です。

(3) 共通議題② 新市域振興ビジョンの改訂について

事務局：新市域振興ビジョンの改訂が完了し改訂版が公表されました。これまで、当会議でも度々福部地域部分の改訂内容について議論をいただきましたので、内容については既にご承知のことと思いますが、改めて内容をご確認いただきますとともに、他地域の改訂内容についてもご覧いただき、新市域の振興にお役立ていただきますようお願いいたします。

以上